

トイレ掃除の意義 ～企業の視点から～

■「KAIZENマインド」の高まり

トイレ掃除には、リーダーシップ、仕事の段取り、人間力磨きなど、さまざまな効能がありそうです。実施の目的はどのようにも設定できますが、帝人グループ「私がやる！」プロジェクト 草の根リーダー塾では、「改善マインドを高める」ことを目的として取り入れています。

次の写真は、帝人グループ新入社員研修（総合職）中の有志参加者の様子です（2009年度から開始）。

<p>問題の発見</p>  <p>「問題の真因」(臭い)を隠さずして、芳香剤という上辺の対策だけでは解決しません。</p>	<p>リーダーの率先垂範</p>  <p>「オマエがやれ！」では人はついてきません。みんなが縛がることに対して、まず自分の手足を動かしてこそ。</p>	<p>道具を上手に使う</p>  <p>その「問題」を解決するのに適切な道具を使い分けします。</p>	<p>準備と後始末</p>  <p>実行段階だけが仕事ではありません。準備と後始末が大切です。</p>
<p>チームワーク</p>  <p>一緒に苦労し、一緒に汗を流してこそ、分かち合える何かがあります。</p>	<p>役割分担</p>  <p>決められた納期までに最大限の成果を出せるよう、役割分担します。</p>	<p>リーダーはホメて励ます</p>  <p>躊躇している人、気持ちの折れている人、苦労している人に声をかけ、一人一人のモチベーションを高めます。また、場を明るい雰囲気にも保つのも大切な仕事です。</p>	<p>達成感</p>  <p>無理だと思っていたことも、やってみればできる。思わず笑顔も浮かんできます。</p>

<参考：日本を美しくする会 掃除に学ぶ会 HPより>

なお、今回お世話になる「山形掃除に学ぶ会」が所属する「日本を美しくする会 掃除に学ぶ会」では、トイレ掃除の目的を次のような「心磨き」としています。



1. 謙虚な人になれる

どんなに才能があっても、傲慢な人は人を幸せにすることはできない。人間の第一条件は、まず謙虚であること。謙虚になるための確実で一番の近道が、トイレ掃除です。

2. 気づく人になれる

世の中で成果をあげる人とそうでない人の差は、無駄があるか、ないか。無駄をなくすためには、気づく人になることが大切。気づく人になることによって、無駄がなくなる。その「気づき」をもっとも引き出してくれるのがトイレ掃除。

3. 感動の心を育む

感動して人生。じざれは人を感動させるよつな生き方をしたい。そのためには日々自分自身が感動しやすい人間になることが第一。人が人に感動するのは、その人と手と足と体を使い、さらに身を低くして一所懸命取り組んでいる姿に感動する。特に、人のいやがるトイレ掃除は最高の宝珠道場

4. 感謝の心が芽生える

人は幸せだから感謝するのではない。感謝するから幸せになれる。その点、トイレ掃除をしていると小さなことにも感謝できる 感受性豊かな人間になれる。

5. 心を磨く

心を取り出して磨くわけにいかないのです、目の前に見えるところを磨く。特に、人の嫌がるトイレをきれいにすると、心も美しくなる。人は、いつも見ているものに心も似てくる。



創始者 鎌山秀三郎氏
(髯イエローハット相談役)